

クリニックの運動器リハビリが エコーで変わる!

～エコーを用いた積極的保存療法～



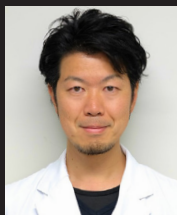
日時

7月17日(日)
12:40～13:40

会場

アスティとくしま
第3会場
(3F第2特別会議室)

座長



鈴江 直人 先生

(徳島赤十字病院 リハビリテーション科 部長)

演者



高橋 周 先生

(東あおば整形外科 院長)

- 参加方法：ランチョンセミナーは整理券制となります。整理券配布所にて受付の上、会場にお越しください。整理券はセミナー開始後に無効となります。
- 整理券配布場所：アスティとくしま 1F エントランスホール
- 整理券配布時間：7月17日(日) 7:30～11:00 ※なくなり次第終了

■ 認定単位：日本整形外科学会専門医資格継続単位 (N)1単位、または [Re] 運動器リハビリテーション単位1単位
■ 必須分野：[2] 外傷性疾患(スポーツ障害を含む) または [13] リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む)
※ 単位取得のための受講申込方法詳細は、学術集会ホームページをご確認ください。

クリニックの運動器リハビリがエコーで変わる！ ～エコーを用いた積極的保存療法～

高橋 周 先生

(東あおば整形外科 院長)

医療の流れは、従来の外科的治療から最小侵襲治療へと急速に進んでいます。運動器の分野も、Non-surgical Orthopedicsという手術の行わない治療が世界的に注目されています。その中でも超音波ガイド下Interventionは運動器の症状に対して正確かつ確実に治療を行うことができます。近年は、エコーガイド下Hydroreleaseという新しい概念に基づいた治療方法によって、今まで画像診断との整合性が取れなかった痛みやしびれに対して診断的治療が可能となりました。その一方で、Hydroreleaseによって改善した痛みやしびれが繰り返すこともあり、その治療には理学療法士による運動器リハビリが必須です。エコー画像を共通言語としてDr.とPTが協力して治療を行うことにより、今まで克服することができなかった運動器疾患に対する積極的保存療法が可能になります。

日本シグマックスは 整形外科クリニックにおける 運動器エコーの活用をサポートします

弊社Webサイトにて
リハビリテーションでの
エコー活用コンテンツを
公開しております！▶▶▶



ポケットエコー **miruco**
リニアプローブ

327,800円(税込)から
購入可能なタブレットエコー
外出時やリハビリテーション
での活用に



ARIETTA Prologue
LE

コンパクトかつ高画質を
実現したポータブルエコー

ニーズにあわせたコンテンツを多数ご用意しております！

■ 診断・治療に関して



症例で見る部位別診断方法
超音波画像診断

監修：皆川 洋至 先生 (城東整形外科)

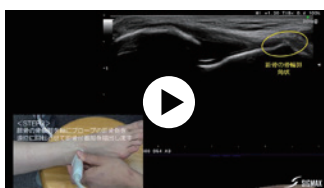
全7部位



運動器エコーナビ ～足関節編～
(前距腓靭帯、前下脛腓靭帯損傷)

監修：笹原 潤 先生 (帝京大学スポーツ医科学センター)

全5部位 ※その他、肩/肘/手/膝関節編も公開中



■ リハビリテーションに関して



リハビリテーションにおける
運動器エコーの活用例

出演・監修：河端 将司 先生
(相模原協同病院 リハビリテーション室)

監修：宮武 和馬 先生 (横浜市立大学 整形外科)



※ご所属は制作当時のものです